

## 第3号議案：2018年度事業方針（案）

基本理念「この地球に住むすべての人々が人間として尊重され、自立し、良い環境の中で平和に暮らしていけることを願っています。」

大国の軍事と力で国家間の緊張感が続く中、世界のいたるところで市民の平和は脅かされています。このような不安な世の中でこそ、人と人との対話と交流が大切と考えます。

基本理念に基づき、今のアーシアンが担える役割と意義を確認しながら事業をすすめていきます。

### I. 交流支援事業

**パキスタン、ラオスへの支援をすすめます。**

#### 1) パキスタン

**アルカイルアカデミー職業訓練所支援**

- ・縫製科で学び、作品を作り上げることや国の認定試験に挑戦することが、生活していく上での自信につながっています。そのため、縫製科の運営費を支援します。
- ・縫製科の子どもたちにとって縫製の仕事が将来の職業選択の一つとなることを願い、JFSA と連携し縫製工房での商品開発をすすめます。

#### 2) ラオス

**「サワナケート県農村部土地と自然資源の持続的な利用・管理支援プロジェクト」(JVC) 支援**

- ・ラオスの農民が生活の基盤となる土地と自然資源を主体的に守ることで、安定的な生活を営めるよう事業を進める JVC のラオスプロジェクトを支援します。
- ・JVC のラオスプロジェクトを支援のため、国際協力カレンダーの販売に取り組み、収益を支援金とします。
- ・JVC との情報交換につとめ、支援の意義を確認し、取り組みに生かしていきます。

#### 3) その他

- ・販売事業と協力し交流支援事業に取り組み、アーシアンの事業を伝えていきます。
- ・交流支援事業に取り組み他団体との情報共有につとめます。

### II. 販売事業

#### 1) アーシアンショップ柏

**地域に開かれたフェアトレードショップとして、途上国の文化や生活を伝えフェアトレードを広める活動を進めます。**

- ・多くの人と接する販売拠点として、生産者情報や文化を伝えアーシアンの活動を知ってもらうためのイベント企画や広報を継続的に行います。その中でショップ顧客が活動に参加する機会を増やし、そこからアーシアン会員の拡大にも取り組みます。
- ・フェアトレード商品の中では、特にオーガニックコットンに焦点を当て年間を通してその社会的背景や意義を伝え、売り上げ拡大を目指します。

- ・新しい事業である生活クラブ生協千葉カタログでのナイアード製品の取り組みに注力し、品質の良さとともにアーシアンで取り組む意義も伝え、安定した事業となるように努力します。
- ・売り上げ金額から交流援助費としてアルカイルアカデミー縫製科への支援を行います。またアレppoの石鹼のキャンペーンを継続しシリアへの支援も呼びかけます。
- ・生活クラブ生協や関連団体さらに地域との繋がりを重視し、出展やイベント企画などで協力していきます。
- ・スタッフの業務分担を進め、より良い店舗作りと継続可能な運営を目指します。

## 2) アーシアンちば

**交流事業としてのフェアトレード品の販売を進めます。より多くの人にフェアトレードの意義を伝えます。**

- ・アルカイルアカデミーの縫製工房との連携をさらに深め、新商品の開発・販売を目指します。  
縫製工房の方の招日の機会にお互いの目標を確認し、商品の開発をします。  
本校の男子生徒が訓練を受けている手織りの布を使い、縫製工房の女性たちが製品に仕立てた商品の製品化を目指します。
- ・生活クラブ生協関連では、センター・デポー出展、デポーでのヘナ販売、デポーカタログ販売、生活クラブ生協千葉カタログでの販売を引き続き行います。特にアレppoの石鹼は、毎月取り組みになることから、さらなるアピールを行い組合員に関心を持ってもらえるよう努力します。
- ・BOX(委託販売)や地域でのイベント参加で、生活クラブ生協組合員以外の方にもフェアトレードや世界情勢に関心を持ってもらえるよう努めます。視覚に訴えるポップの掲示などをおこないます。
- ・外部の展示会や学習会に参加し、知識を深め、学んだことを多くの人に伝えます。
- ・「給食応援キャンペーン」とアレppoの石鹼のキャンペーンは引き続き行います。

## Ⅲ. 啓発・広報事業

**自らが学び活動を作り出し、そして広く知らせることを大切に事業を進めていきます。**

### 1) 啓発

- ・交流支援、販売事業の中で学習の機会をもち、活動の意義を伝えます。
- ・外部イベントに参加し、多くの人に活動を知らせ情報交換の場として活用します。
- ・生活クラブ生協「コミュニケーション広場」の出前講座を継続し、活動を伝えます。

### 2) 広報

- ・レターを年3回発行します。活動を知らせ、活動の意義を共有できるよう紙面の充実に努めます。
- ・コルザへの掲載に取り組みます。活動への参加や協力をよびかけます。
- ・ホームページ、フェイスブック、カンパニブログ等の活用を進めます。
- ・その他、他団体機関紙で活動を知らせていきます。

#### IV. 関連団体との協力

**関連団体との協力により、事業をスムーズに進めます。**

- ・JFSA,JVC と連携・協力して事業をすすめていきます。
- ・生活クラブ生協をはじめ、生活クラブ千葉グループと連携して情報交換につとめます。

#### V. 組織運営

**アーシアンが安定的に運営され、事業を継続していくために「人に繋がり、人を育てる組織づくり」をめざします。**

##### 1) 理事会の開催と運営委員会

- ・理事会は各事業の活動状況を把握し、事業の目的を確認します。そして会の活動の方向性を話し合い今後の活動をつくりだします。
- ・運営委員会は事業担当者の集まりとし各事業の情報を交換し、理事会への提案をまとめます。
- ・事業ごとにミーティングをもち共同で事業計画にそって事業を進めていきます。

##### 2) 会員拡大と仲間づくり

- ・各事業を通じてアーシアンの意義をつたえることが「会員拡大」へと繋がることを意識して「活動を語り、仲間を求めている」ことを積極的に発信できるよう取り組みます。
- ・団体会員の増加を目指します。
- ・大きな課題である「運営を担当する仲間を増やすこと」を目的とします。

##### 3) その他

- ・活動の質を高めるため外部研修に参加します。